JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2026 2

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers Alpine Federation
〒 162-0814 東京都新宿区新小川町 5 番 24
TEL：03-3260-6331　FAX：03-3235-4324
Mail：jwaf@jwaf.jp
発行責任者／川嶋髙志　発行年月／ 2026 年 2 月

五竜岳（後立山）

「武田菱の五竜岳」

春近しを感じる時期になると山頂直下に現れる武田菱。東面にはＧ０から北尾根迄多くのルートがあり西遠見をＢＣにし、快適な登攀が楽しめる。ＧⅡの頭から（逆くの字のルンゼから白岳沢に）滑降した労山会員の記録もある。

（岡孝雄・プリムラ山の会／東京）

■ 日本勤労者山岳連盟 第37回総会の開催

増え続ける遭難事故 安全登山教育を拡充していこう

第 37 回　全国総会の開催

--増え続ける遭難事故　安全登山教育を拡充していこう--

日本勤労者山岳連盟の第 37 回総会が、2 月 14～15 日に東京都内・市ヶ谷ビジョンセンターで開催されます。この総会には 48 都道府県の地方連盟から約 60 名の代議員（定数 76 名）と全国連盟役員などの出席が見込まれています。総会をより実り豊かにするために議案書のうちの 2026 年活動方針（案）を紹介します。ついては各地方連盟において議案に対する討議を深めていただけたら幸いです。総会の目玉は第 3 号議案の連盟費の値下げ提案です。
それではざっと内容を見ていきましょう。

＜主な議題について＞

37 回総会の主な議題は、次のとおりである。

・1 号議案 第 36 下期の活動総括と第 37 上期 2026 年度）の活動方針
・2 号議案 第 36 下期の財政活動総括と第 37 上期の財政方針、予算案の策定
・3 号議案　連盟費に関する規定の一部改定
・4 号議案　全国役員の選出、その他

今総会の主な目的と主要な課題は、次のとおりである。

（1）広範な登山者の要求実現と登山環境整備のための、組織強化と会員拡大を目指す活動について
（2）増え続ける遭難事故への対策と安全登山教育の拡充について
（3）環境保全に取り組み、豊かな山岳自然を守る活動について
（4）連盟財政の安定化について
（5）紛争の無い平和な社会を実現し、登山文化を継承・発展させる取り組みについて

＜第 36 期上期（2026 年）活動方針＞

1）組織強化拡大をめざす取り組み

①組織拡大に向けた取り組み

・「組織拡大・経験交流集会」の開催　10 月 3 日（土）全国連盟事務所
・2025「全登研（2025.11.15-16 大阪）」集会の反映、具体的にはユーチューブの活用やインスタグラムなどと連携した研究・普及を研究と推進。蓄積された登山技術・知恵の外部への発信

2）遭難事故防止の活動と教育活動

①地方連盟の遭難対策活動を支援

気象・読図・運動生理学・緊急連絡体制他、講師派遣を継続して充実させる。

②教育体制の充実

・「全国遭難対策担当者会議」の開催　7 月 4 日～5 日全国連盟事務所

転倒事故防止等の安全登山教育体制を強化する。

③健康管理

・登山の運動生理学とトレーニング方法の啓発を行う。

「登山寿命を伸ばすための考え方と実践」を各地で開催する。

・新たな筋トレ講習を導入し、各地で取り組みを行う。

④遭難事故の原因分析

各地で登攀や沢登りに関する墜落・転落・溺死等の事故が発生している。事故の検証と遭難対策部員の技術レベルアップの研修を開催。

3）自然保護活動

①第 53 回全国一斉クリーンハイク・清掃登山を 6 月 7 日に実施。

②全国自然保護担当者会議　11 月 14 日～15 日 近畿地区。
③大型風力発電・メガソーラー計画で生じる様々な問題の学習。
山岳自然を破壊する計画には反対していく。
④ライチョウ保護、登山道整備、山のトイレ問題の取り組みを行う。
４）ハイキング委員会
①2026年全国ハイキング交流集会の開催
6月13日～14日　石川県。
「登山寿命を延ばす歩き方とトレーニング」をテーマに講習と交流を行う。
５）海外委員会
海外山行交流集会の開催　11 月 28 日～29 日全国連盟事務所。
６）自然災害等への支援活動について
財団法人山岳基金への寄付金の運用資金で、災害支援について検討する。

＜連盟費値下げの提案＞

連盟費＝（加盟団体数）×3,600 円＋100 円×12 ヶ月×（所属会員数）を提案。
現行月額 130 円を 30 円減して 100 円とする提案です。提案理由は以下のとおりです。
2000 年に会員 1 人当たり月額 100 円であったのを月額 30 円値上げした。当時は会員数が 23,700 名を超え最も労山組織が拡大した時期であったが、それとともに活動領域が拡大した。
収入増で各種全国会議への地方連盟からの参加者交通費補助や、消費税導入による諸物価高騰への対応に充てた。
現在は全国連盟事務所を所有することでの経費削減、事務作業の効率化により、2000 年以前の会員 1 人当たり月額 100 円に戻しても、現在の活動ができるとの判断から、連盟費の値下げを提案した。
全国連盟費の値下げ前の収入は団体連盟費（500 団体）と個人連盟費（16,000 名）の合計 2,680 万円になる。30 円値下げすると合計 2,100 万円になる。つまり 580 万円のマイナスとなる。
これを山岳基金に寄付した 2 億円（残りの 2 億円の寄付は償還の関係で 2030 年頃までかかる）の運用利益平均 3 %の 600 万円で補填する。主に全国連盟事務所の固定資産税、建物保険料・警備費、減価償却引当金、水道光熱費、事務機器リース代金に支出する。
同時に労山基金と安全対策基金を維持していくため、地方団体事務推進費の支出を廃止する。これにより基金加入者 1 人 100 円と振込手数料（15,000 名の加入者だと約 155 万円）の支出が無くなり、事務作業の効率化とともに、安全対策基金への支出拡大が可能となる。

以上

2025 年登山研究集会報告より

無雪期登山道の下山中転倒滑落は、冬山より危ない。

転倒滑落防止の歩き方実験　（大阪府連中川和道）

・探り歩き

警戒態勢に入った下りで、前に下した足を着地する前に足を左右に動かして状況を探る歩行技術。短時間ながら後ろ足に体重を強く残すので、脚力が要る。この筋力獲得を筋トレの新たなる目標に位置図けることを提案する。

市販のブロックを用いて「探り歩き筋トレ成果チェックセット」を試作した。

・強制滑り板

石車に乗る、粘土・苔・草・氷で滑るなどを想定し、2 枚の板を 2 本のロープで連結した。容易な設定は転倒寸前体験として役立つ。やや危険な設定では、受け身がどの程度役立つのかなどの実験を行う。今後は、高速度カメラなどを用いた運動解析を行い研究進めたい。

11月3日から12月31日までに届いた事故一報

件数	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	2025/11/03	大阪府	62	男性	雨乞岳～イブネ～クラシ	無雪期	転・滑落	イブネ北端からの下山途中、本小峠へ下る急な斜面をトラバースしている時、立木を掴んで前に移動しようとしたら、立木が折れてバランスを崩し斜面を2メートル程滑落。途中の立木に捕まって止まった際に左頭部を立木にぶつけて左頭部を打撲。その後は無事自力にて下山。	左頭部打撲
2	2025/11/12	道東地区	49	男性		人工壁	転・滑落	釧路の体育館アリーナの人工壁でフリークライミング中にフォール。その際手が残り、フォールドを握った時に、左肩と上腕に激痛が走った。軽い肉離れと思い経過観察をしていたが、肩と上腕の痛みが続いたので受診。上腕三頭筋、筋断裂した。肩については、MRIが上手く撮影出来ていなかった為、12月11日に再度受診を予定。	上腕三頭筋筋断裂
3	2025/11/14	栃木県	80	女性	滝子山	無雪期	転・滑落	登山口を間違えたため道迷いをし、途中で下山した。急な岩場で5m程滑落し怪我をした。	肋骨3本、顎、頬の骨折
4	2025/11/21	京都府	75	女性	比良山	無雪期	転倒	楊梅の滝壺から川を渡り向こう岸に向かう時に、濡れた石で足を滑らせ尻もちをつく。その際右手で身体を支えようとして右手をつき右手橈骨骨折する。	右手橈骨骨折
5	2025/11/23	福岡県	73	男性	三郡山	無雪期	転倒	単独で自宅を6:10に徒歩で出発。昭和の森、頭巾山を経て三郡山に8:15登頂。仏頂山に向けて、天の泉上部の坂を下っている時に石につまずいて前のめりに転倒。回転して転落した際に右臀部を岩で強打した。	右骨盤複雑骨折
6	2025/11/28	東京都	43	男性	Fuu Lung	海外登山	体勢	ルーフ抜け口のガバに右ヒールをかけて乗り込んだ後、フォールした際にヒールが外れずに踵と足首を捻った。捻った際にブチッと音がしたものの、大きな痛みはなかったため歩行に支障はなく、自力下山した。宿に戻った後でアイシングをし、その後2日間はレストして安静にした。踵に若干の腫れがありクライミングシューズを履くと痛みがあったが、大きなシューズを履けばクライミングできたため、帰国までクライミングを続けた。その後も患部は悪化している様子はないが違和感は残っている状態。	踵と足首を捻る
7	2025/11/29	兵庫県	73	女性	蓬莱峡	訓練	体勢	午後、アイゼンで土の斜面の登下降訓練の途中から膝が痛くなり、下山後歩くことが困難になった。前爪を蹴りこんだ時から痛くなったような気がする。	右変形性膝関節症・右膝内側半月板断裂
8	2025/11/30	東京都	82	男性	大山・菩提峠	無雪期	転倒	一の塔尾根の下りで、最後に近い林道を横断した先の草むらで枯れ木の枝に左足を引っ掛けて前方に転倒。（標高700 メートル)右肘を地面に強打した。整形外科を受診したところ「右肘頭骨折」と診断された。4週間程度の固定治療が必要。	右肘頭骨折
9	2025/11/30	鹿児島県	76	女性	千貫岩	登攀	虫・動植物	登攀後、自宅に帰り、両腕・背中・脇にそれぞれ数箇所にずっと痒みがあり、２日後も続いたため病院を受診した結果ダニに噛まれていた。	虫刺され（ダニ）
10	2025/11/30	千葉県	56	女性	表妙義自然探勝路（中間道）	無雪期	転倒	落ち葉が積もったゆるい下りの登山道で、落ち葉の下にあった石の上に足が乗って滑って転倒。その時、膝をねじって尻もちをついて肘をぶつけた。落ち葉の下は石と土が混ざった道だった。	左膝 内側靭帯損傷
11	2025/11/30	兵庫県	62	女性	箕面公園（明治の森）	無雪期	転倒	下山後半、落ち葉の多い登山道で尻もちをつき、左足首を骨折。動かずに救助要請し、１時間後に救助。	左足首骨折
12	2025/12/07	長崎県	64	女性	権現岩	登攀	転倒	15:30岩トレ終了後、権現岩から登山道を100m下りたガレ場で脚を取られスリップし右足を捻った形で転倒。足を引きずりながらも自力下山、翌12/8（月）整形外科受診、右足外果骨折で入院治療中。	右足外果骨折
13	2025/12/07	香川県	54	男性	五色台	登攀	転・滑落	大屋冨ゲレンデにてアイゼントレーニング後＋RCT。15m程のクラックルートで途中ボルトが3か所あり終了点もしっかりあるルートでRCT。リーダーが先ずはデモで登り、カムも数個残置して下りる。その後、事故者がリードでのRCT中、最後のテラスに上がるところで滑落、３ｍ程落ちる。左足がクラックにかかった状態で落ちたのでひねった状況になる。100m程水平移動したところまで車を回せるのでそこまでザック搬送後車で病院に行く。	左足首靭帯損傷・踵骨挫傷
14	2025/12/08	新潟県	61	女性	蓼科山	氷瀑	転・滑落	セカンドで登っている方の氷が当たるのを避けるため、右側を登り乗越のところで落ちて左胸部を打った。	左側肋骨1本骨折
15	2025/12/08	兵庫県	84	男性	芦屋川右岸新道コース	無雪期	転倒	昼食後荒地山を芦屋川右岸に向かって、北尾根コースを南下分岐を過ぎて芦屋川右岸新道ルートに入る尾根上で、湿った枯葉に足を置いた所足を滑らし、捻って転倒。左関節から太腿あたりを打撲。空身でストックにて下山、10日に受診するも痛みが酷くなるので24日別の病院を受診し、変形性膝関節症と診断。	変形性膝関節症
16	2025/12/11	福井県	69	女性	岩籠山	無雪期	転倒	下山中、標高300m地点辺りにて転倒し胴部を強打。	肋骨4本骨折
17	2025/12/14	道央地区	21	男性	札幌岳	積雪期	転・滑落	空沼登山口から縦走最終日三日目。下山ルートである冷水沢にて、沢に滑落。冷水小屋と林道の中間地点で視界も悪くビバークを決行。12時すぎに道警により救助。	右足のけが
18	2025/12/18	兵庫県	64	男性	八ヶ尾山	無雪期	転倒	濡れた岩の上を歩行中に滑って転倒し、右肩を強打した。	右肩甲骨の骨臍盤断裂
19	2025/12/21	福岡県	44	男性	糸島半島野北海岸ラウンド	訓練	転・滑落	海岸沿いをアイゼントレーニング中に10mくらいの3級くらいの岩場で、先行者が登攀中に残置ロープが切れて滑落した。滑落者のフォールラインにいた事故者と滑落者が接触し、その衝撃で1～2m下の岩場に滑落した。	打撲・捻挫
20	2025/12/21	福岡県	50	男性	糸島半島野北海岸ラウンド	訓練	転・滑落	海岸沿いをアイゼントレーニング中に10mくらいの3級くらいの岩場を登っている時に、4～5mの高さで残置ロープ（船舶用白く太いロープ）を持って荷重を掛けた時に、ロープが切れて滑落し、取付きに居たメンバーと衝突し、岩場に落ちた。	挫傷

21	2025/12/21	道央地区	77	女性	中山峠	積雪期	転倒	中山峠スキー場870M付近を目指し、登山開始30分後、845m付近で林道を移動中に、氷で滑り転倒し左膝を強打する。帰宅後自宅療養で様子を見るが、腰、股関節にも痛みが出たので病院受診する。	左膝打撲
22	2025/12/25	東京都	33	男性	水晶岳	積雪期	その他	2025年12月25日、水晶小屋南側のワリモ沢支流源頭部にて雪洞泊を行った。同日23時30分頃、トイレのため雪洞を出た事故者が戻らなかったことから、事故が発生したと判断。雪洞に残っていた同行者が、インリーチにてSOSを発信し、富山県警による捜索が開始された。12月26日は悪天候のため捜索は実施されず、12月27日および28日の2日間にわたり、ヘリコプターによる捜索および地上捜索が行われたが、事故者の発見には至らなかった。12月28日、同行者の一人はヘリコプターにてピックアップされ、県警による捜索は打ち切りとなった。今後は、会および民間の捜索救助機関による捜索を実施する予定である。	行方不明
23	2025/12/28	東京都	75	女性	蛭ヶ岳	無雪期	転倒	姫次から5分程下ったところで転倒し、左前頭部を強打した。	左前頭部を強打
24	2025/12/30	石川県	62	女性	鶏冠山・天狗岩	無雪期	その他	天狗岩下山時に岩場間の細い通路で両壁を掴んで体を支え前進したが、岩場の間隔が狭く左手が上手く抜けずに手の甲を巻き込んだ。	左母指基節骨基部剥離骨折
25	2025/12/31	福島県	48	男性	青葉の岩場	登攀	転・滑落	展望エリア、みっちゃんクラック(5.8)をリード中、終了点脇の丸石(直径約50cm)をつかんだ時に石が剥がれて頭から(約3m)滑落した際に途中の岩に右肩下を強打。消防レスキューにて搬送下山し入院治療となった。本人からベットで横になっていれば痛みなしとの事。	右背中肋骨骨折（まだ未定）

男女別　・年齢層　・形態　・原因　・傷病

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	1	1	4	2	2	1	2	0	13
女性	0	0	0	1	5	5	1	0	12
合計	1	1	4	3	7	6	3	0	25

形態	無雪期	積雪期	人工壁	沢登り	登攀	氷瀑	訓練	海外登山	合計
男性	5	2	1	0	2	0	2	1	13
女性	7	1	0	0	2	1	1	0	12
合計	12	3	1	0	4	1	3	1	25

原因	転倒	転・滑落	虫・動植物	体勢	疲労	病気	下山遅れ	その他	合計
男性	4	7	0	1	0	0	0	1	13
女性	7	2	1	1	0	0	0	1	12
合計	11	9	1	2	0	0	0	2	25

傷病	骨折	打撲	断裂	捻挫	刺傷	挫傷	損傷	その他	合計
男性	4	1	2	2	0	2	0	2	13
女性	7	2	1	0	1	0	1	0	12
合計	11	3	3	2	1	2	1	2	25

2026 年度の全国的な規模の集会･会議予定

第 37 期上期（2026 年度）

機関会議･集会

第 37 回全国総会	２月 14 日～15 日（東京・ビジョンセンター市ヶ谷）
全国遭難対策担当者会議	７月４日～５日　（東京・全国連盟事務所）
全国自然保護担当者会議	11 月 14 日～15 日　（　近畿地方　）

行事･集会

第 40 回全国雪崩講習会	１月 30 日～２月１日（ 長野県・栂池高原 ）
全国ハイキング交流集会	６月 13 日～14 日（ 石川県　）
全国海外山行交流集会	11 月 28 日～29 日（ 東京・全国連盟事務所 ）

国際会議･その他集会･行事

アジア山岳連盟（UAAA）年次総会	未定　（ 中国・重慶 ）
第 10 回「山の日」記念全国大会	８月 10 日～11 日（岐阜県高山市）

労山基金　2025 年 12 月交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名	入通院日数 死亡数
1	京都府	60代男性 3口	2024/11/231 2時30分頃	近畿地方その他 三上山 裏登山道	無雪期登山	転・滑落	下山開始後、約40分後に岩で滑り、左足首を強打しました。	左足メゾヌーブ骨折	入院75日 通院15日
2	東京都	30代女性 8口	2024/12/221 3時30分頃	北ア　後立山連峰 八方尾根スキー場　裏黒	山スキー	転倒	不整地斜面の比較的大きな起伏のあるところを避けようとした際に、バランスを崩して、板が雪面に刺さる形で転倒。自力での脱出が難しかったため、メンバーに板を脱がしてもらい自力で立ち上がる。感覚的には滑降が可能そうだったので、メンバーの補助を得ながら整地箇所まで出て、自力下山。翌日になり腫れや痛みは少しだけでてきたが、日常生活には何ら支障なし。年末年始山行も控えてるため、念の為、病院で診てもらいMRIを撮ったところ、前十字靭帯の完全断裂およびその他の箇所の損傷。後日、手術予定。	前十字靭帯断裂・大腿骨及び脛骨の骨挫傷・大腿二頭筋肉や排腹筋外側頭・腸脛靭帯損傷合併	入院10日 通院50日
3	岡山県	70代女性 1口	2025/01/121 2時40分頃	中国・四国その他 天狗山(備前市日生町) 山頂から三ツ池に降る登山道 池の手前標高240m付近	無雪期登山	転倒	細い下り坂、シダが茂っていて足元が見えず、石に足を引掛け転倒した。少し痛みがあったが自力で下山し、帰宅後病院を受診した。	右上腕骨近位端骨折	入院17日 通院50日
4	群馬県	40代女性 7口	2025/01/251 2時00分頃	八ヶ岳連峰 南沢大滝・小滝	氷瀑	落石（落氷）	八ヶ岳南沢大滝をトップロープでアイスクライミング登攀中に落氷が顔に当たり、右側の目の辺りが打撲し右頬を裂傷する。	裂傷（顔・右頬・左目上）	通院7日
5	長野県	70代女性 5口	2025/01/241 0時30分頃	中国・四国その他 大麻山　象頭山　琴平山 登山道	無雪期登山	転倒	登山開始2時間くらいで、石ごろの狭い登山道の石に躓き転倒。右前腕と肩を痛める。	右肩腱板断裂・右肩関節唇損傷	入院5日 通院21日
6	岐阜県	70代女性 5口	2025/05/051 3時00分頃	近畿地方その他 八鬼山 三木里登山口	無雪期登山	転・滑落	下山開始1時間半後、三木里登山口の石がゴロゴロした所で転倒し、顔面を丸い石に打ちつけた。その時額が割れて血が吹き出してきた。	裂傷（額・目・鼻）	通院7日
7	兵庫県	50代男性 10口	2025/05/030 9時00分頃	奥秩父 小川山 廻り目平の岩場	登攀	転・滑落	八幡沢の"ジャーマンスープレックス"ルートの１ピン目にカムで中間支点をとらずに、２ピン目に向かう。２ピン目に届かなければ、１ピン目用のカムを補充しようと思い向かうが、足が保持力を失い滑り落ちる。滑り落ちた先の木の株に、右足の裏から落ちて、衝撃を受ける。	右アキレス腱断裂	入院5日 通院34日
8	愛知県	60代男性 10口	2025/06/011 0時00分頃	鈴鹿山系 御在所 東多古知谷	沢登り	転倒	県連の清掃登山への参加として集合場所である御在所山上公園に向けて東多古知谷ルートを選択した。百間滝登攀後、長谷部、蜂須賀、中貝の順で山上公園に向けて歩き出した1～2分後に平坦なヌメリのある岩の上で膝が内側に入り、両足が開くような恰好で足を滑らせ尻もちをついた。左足首から膝にかけて、そるような無理な姿勢となり左足脛を骨折した。	左脛骨腓骨骨幹部骨折・左足関節後果骨折	入院48日 通院18日
9	東京都	60代女性 5口	2025/05/251 1時30分頃	人工壁 クライミングジム ビッグロック日吉店	人工壁	転・滑落	クライミングリードコースの実技講習において、リードでフォールの練習中、4ピン目をかけた後にフォールした際に右足がホールドにやや強く接触してしまった。	右第一趾中足骨骨折	通院8日
10	東京都	60代男性 5口	2025/06/141 3時30分頃	奥武蔵・秩父 天覧山 岩場グレンデ	訓練	病気	昼休憩後、トレーニングの順番を待っているときに立ち眩み→しゃがみ込み→転倒。しばらく様子を見て休んでいたが回復の兆しなく舗装道路まで移動し救急車を依頼、病院へ搬送。	小脳梗塞	入院26日 通院12日
11	兵庫県	50代女性 5口	2025/06/227 時00分頃	八ヶ岳連峰 北八ヶ岳 高見石小屋前	無雪期登山	転倒	高見石小屋前の浮石に乗ってしまいバランスを崩して転倒した際に足首をひねる。	腓骨骨折	通院7日
12	道央地区	50代女性 5口	2025/07/130 8時30分頃	北海道その他 浜益御殿 千代志別川　Co.177付近	沢登り	転・滑落	千代志別川から入渓後1.5km付近で、高さ1.5m程の岩を乗り越えようとした所、右足を滑らせ水流にも押される状態で滑落。右足首に強い痛みを感じ、歩行困難となる。	右足首関節果部骨折	通院19日

13	福島県	70代女性 5口	2025/07/121 3時00分頃	早池峰山系 薬師岳 尾根筋	無雪期登山	転倒	下山開始して間もなく、つかんだ木の枝が折れて転倒し、大きな石に衝突した。動けなくなった事故者の負傷箇所を確認。右手肘から先が痛く骨折していた。右側頭部を石に強くぶつけたようだが出血は無く、コブは目立たないくらいだが触ると痛い。右手は添え木をして三角巾で固定して、足は大丈夫なのでゆっくりと下山開始。同行者が先に下りて救助要請。小田越に到着して救助依頼したところ、本人が頭を打っているなら動かすなとアドバイスされ、ヘリの救助要請を手配してくれた。岩手県航空防災センターのヘリにピックアップされた事故者は花巻空港まで運ばれ、そこからは救急車で北上市の岩手県中部病院に搬送された。頭は異常なし。右手首は折れているので固定し直し、帰省してから地元の病院にかかる。	右側頭部打撲・右前腕骨骨折	入院17日 通院19日
14	群馬県	60代女性 3口	2025/07/231 0時00分頃	北ア　槍・穂高周辺 前常念岳から三股登山口へ下る一般登山道	無雪期登山	転倒	前常念岳から三股登山口に向かって一般登山道を下山中、露出していた岩に足を乗せた際、靴底を滑らせて転倒した。その際、尖った岩に右手の親指つけ根部を打ち付け、小さな切り傷が見られ出血があった為その場で処置した。事故後、歩行には特に問題は見られずパーティー全員で下山した。帰宅後翌日に親指つけ根部に痛みがあった為、整形外科医で検査した結果、手首親指側の「舟状骨骨折」と診断、ギプス固定の治療が施された。（完治まで2～3か月との事）	右手首舟状骨骨折	通院10日
15	長崎県	50代女性 3口	2025/07/231 2時30分頃	九州・沖縄その他 あまりのおばね下り	無雪期登山	転倒	あまりのおばねの下りで、1m位の段差で脚を踏み外し左脚を捻った形で転倒した。	左脚靭帯損傷	通院28日
16	神奈川県	70代男性 5口	2025/08/131 1時00分頃	南ア　甲斐駒・仙丈 甲斐駒ヶ岳 頂上直下　直登ルート東側　砂礫斜面　2910m地点	無雪期登山	転・滑落	甲斐駒ヶ岳直登ルート2900m地点から直登ルート逸脱。ルートミスに気づくも、踏み跡に従い頂上2967Mに向かい砂礫斜面を直登。手を掛けた岩（直径約1.5m）が砂礫斜面から剥がれ、本人に覆いかぶさるように転がり胸部を圧迫、岩はそのまま転がり本人は横転した。	右腓骨顆間隆起骨折・右腓骨近位端骨折・多発肋骨骨折・左肺挫傷・両側血胸・左多発突起骨折・肝損傷	入院55日 通院7日
17	群馬県	60代女性 5口	2025/08/031 0時00分頃	那須・日光・足尾・常陸 袈裟丸山 倉見沢支流高場沢	沢登り	転倒	救助隊の沢登り訓練中、石につまづいて転ぶ。帰宅後、暫くしたら痛みがあるので8/12整形外科へ行く。MRIｗｐ撮り、右手首の有鉤骨骨折と診断。シーネ固定（完治まで20～30日間との事。）	右手首有鉤骨骨折（ゆうこうこつこっせつ）	通院15日
18	愛知県	60代男性 5口	2025/08/240 9時00分頃	中部地方その他 金森山 万古渓谷内	沢登り	転倒	万古渓谷遡行中、足を滑らし転倒。痛かったが、行動できると判断し、そのまま遡行を続ける。1時間ほど登り、魚留の滝にて休憩時タイツを上げ傷を確認すると、10cm位傷口が開いていた。滅菌ガーゼを当て、三角巾で固定し、そこから自力下山開始。下山後病院にて9針縫合する。	左膝裂傷（左ひざ皮膚開放・９針縫合）	通院4日
19	京都府	60代女性 5口	2025/08/291 2時10分頃	北ア　剣・立山周辺 剱岳から前剱大岩からの下山途中	無雪期登山	転・滑落	剱岳から前剱大岩からの下山途中、岩のガレ場でバランスを崩して5mほど転滑落。富山県警の救助要請し、ヘリコプターで搬送された。富山県立医大病院で診察、検査のため一日入院。右外耳裂傷、右眼瞼上の打撲、右肩及び左下肢外傷で治療処置。	創傷（右耳・右頬・右肩・左脛・右太腿部）	入院2日 通院4日
20	埼玉県	50代女性 5口	2025/08/301 3時30分頃	尾瀬・南会津 タル沢悪沢～井戸沢下降	沢登り	転倒	下山中に転倒し、手をついた時に小指を打撲した。	左手小指骨折	通院4日
21	福岡県	50代女性 5口	2025/09/071 2時00分頃	九州・沖縄その他 鉾岳 鉾岳沢の下山路	沢登り	転倒	鉾岳沢の沢登り到達点まで終了し、一般登山道を下山中転倒し負傷した。下山道は幅40㎝程度の山土のほぼフラットで木の根に躓いた。 周囲には『ギクッ』と音がし本人は転倒。倒れたままで起き上がれず　テーピングと副子の応急処置を実施し、パーティでサポートをしゆっくりと下山。医療機関へ直行した。	右足関節捻挫・右アキレス腱周辺炎・左膝部打撲傷	通院5日
22	兵庫県	60代男性 5口	2025/09/131 1時00分頃	六甲・金剛・和泉山系 六甲山 芦屋地獄谷	無雪期登山	グリップ動作上の不注意	地獄谷の岩場歩きで、岩を素手でつかむ場面が多々あり、突き指までには至らないまでも、岩に指を突き立ててしまう動作があった。当日は何の異常もなかったが、翌日の9/14、左手薬指の第1関節が曲がったまま伸ばすことができない状態になっていた。9/17整形外科を受診し腱性マレットと診断され、関節を伸ばすための装具を装着した。	腱性マレット	通院4日
23	千葉県	60代女性 5口	2025/10/181 3時30分頃	人工壁 印西クラック	人工壁	転・滑落	人工壁でのリードクライミング練習中。登っている途中、壁についているカラビナにロープをクリップしようとたが、ホールドしている手がすべり落下、途中で止まったが落ちる際に壁に背中などをぶつけた。	打撲・背	通院6日

部・局・専門委員会の活動

■ 遭難対策部　転倒・滑落も多いが、訓練中の事故にも細心の注意を

12 月 31 日までに届いた事故一報は、24 件 25 名。今月の事故原因は、転倒が 11 名、転・滑落が 9 名、体勢が 2 名、虫・動植物が 1 名、その他が 1 名、不明が 1 名。

登山形態は、無雪期が 12 名、積雪期が 3 名、登攀が 4 名、氷瀑が 1 名、人工壁が 1 名、海外登山が 1 名、訓練が 3 名。傷病名では、骨折が 11 名、打撲が 3 名、断裂が 3 名、捻挫が 2 名、挫傷が 2 名、刺傷が 1 名、損傷が 1 名、その他が 2 名。年齢では、20 代が 1 名、30 代が 1 名、40 代が 4 名、50 代が 3 名、60 代が 7 名、70 代が 6 名、80 代が 3 名。事故者の 6 割が 60 代以上。原因は、石に躓いたり、滑ったり、落葉の下の石に乗って転倒した事例が多かった。転滑落では、道を間違えたことが要因で急な岩場に踏み込み滑落した事例やアイスクライミング中の落氷を避ける為に転落した事例もあった。その他、下山中に歩行困難となり救助要請した事例(60 代)、積雪期の縦走で沢に滑落しビバークした後救助された事例(20 代)、アイゼントレーニング中(訓練)に残置ロープ(船舶用の白く太いロープ)が切れて滑落し、落ちた本人と取り付きにいたメンバーにも衝突して打撲・捻挫・挫傷した事例もあった。訓練であれば、より慎重に点検・確認が必要であった。転倒では、そのほとんどが骨折しているケースである。筋力やバランス感覚の衰えがある事を自覚して頂き、山での歩き方や日常でのトレーニングの見直しを考えて頂きたい。

（遭難対策部：石川昌）

■ 労山基金運営委員会　交付の特典について

交付の特典は、ハイキングでの 3 口以下加入者を前提にして条件を満たす場合、3 倍口数の交付を受けられる制度です。 ただし 5 口以上での特典申請が増えてきましたので、交付上限（10 口を超えない範囲）が設定されています。

2 口加入→6 口交付、3 口加入→9 口交付、
4 口加入→10 口交付、5 口加入→10 口交付。

特典交付の条件（規定細則－3　交付の特典より）

(1)岩、沢、雪、海外を除く。
(2)標高 2,000m 以下
(3)標準コースタイム 5 時間以内
(4)日帰り
(5)既設登山道

＊交付の特典の申請には、申請者で認定条件を満たしていることを示す必要がある。
＊2000m 以下で事故が起きても、計画書の最高到達点が 2000mを超えないことが必要。
＊公式資料での行動予定時間が 5.0 時間以内であること。

公式資料とは、昭文社の地図、自治体が作成したハイキングマップ、出版されたハイキング本などを指します。（YAMAP、ヤマレコ、などの自己記録コース時間は該当しない）
＊既設登山道とは、公式資料で一般登山道となっているルートです。 計画ルートが一部でも点線ルートや、記載のないルートを通過していると該当しない。
（国土地理院の地形図/数値地図 5 万分の1や 2 万 5 千分の1のルートは参考）
＊上記項目を満たす山行計画書やガイドブックなどの写しを添付して下さい。
＊当該山行が特典交付にあたるかどうかは基金運営委員会が認定します。

（労山基金運営委員：岸岡寛）

■ 海外委員会　海外委員会を開催

1 月 13 日(火)海外委員会を zoom で開催し、あらたに海外委員募集方法について海外委員会のある地方連盟を確認して理事長、委員長連名で地方連へ依頼する話し合いを行なった。

2 月 14 日(土)、15 日(日)労山全国総会には海外委員 2 名を傍聴者として選出した。総会終了後に全国連盟事務所で第 1 回海外委員会を開催し、11 月 28 日～29 日海外山行交流集会(対面)講演者、発表者の選出ならび海外委員募集について検討を進める予定である。

（海外委員会： 武笠真次）